

事業名：自治会連絡協議会補助金

市民生活課 市民活動係

政策	06 市民協働によるまちづくり								
施策	01 自助・互助・公助のまちづくり								
基本事業	01 コミュニティ活動の支援と連携								
開始年度	昭和56年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市自治会連絡協議会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市民協働の推進に向けた重要なパートナーである江別市自治会連絡協議会に対し、地域住民の連帯感の醸成とコミュニティ活動の活発化を図るため、運営費の一部を補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
江別市自治会連絡協議会が、単位自治会や三地区連合会及び行政との円滑なパイプ役として機能するよう事業費の一部を補助することにより、自治会活動の更なる活性化と、より一層の市民協働の推進がなされる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	加入自治会数	自治会	162	162	162	162
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
活動指標2						
成果指標1	自治会活動研修会参加者数	人	53	75	86	100
成果指標2	事業実施数	件	12	13	12	14
事業費(A)		千円	1,100	1,100	1,100	1,100
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	2,705	2,703	2,663	2,665

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	江別市自治会連絡協議会の各種事業に対し補助金を支出。	江別市自治会連絡協議会への補助金 1,100千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
自治会との協調、自主的活動への支援
事業を取り巻く環境変化
地域課題の解決に向け、今後益々地域コミュニティ活動の充実が強く求められている。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 自治会間の連携強化と、自治会全体の共通課題の解決を目的とする江別市自治会連絡協議会の運営に対し、一部補助を行うことは妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 自治会連絡協議会の実施する事業は、地域における連帯感を高め、明るく豊かな生活環境の実現を目的として行われているものであり、同団体への補助を行うことによる貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 江別市自治会連絡協議会には、全ての自治会が加入しており、実施事業数も一定の水準を維持しているため、運営に対する一部補助により成果は上がっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 全ての自治会が江別市自治会連絡協議会に加入しており、各自治会の横の連携の強化と更なる活動の活発化により成果の向上が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 市民協働を推進していく上で、自治会連絡協議会の果たす役割は大きいことから、補助金の削減は事業の後退を招くおそれがある。